

Keyword：新入社員

今月から新たに2名のメンバーが加わりました。新卒での採用は初めてとなります。2人とも同じ専門学校で学び、縁あって同時に弊社に入社することになりました。昨年から続くコロナの影響で、いろいろと制限の多い状況ではありますが、弊社の土壌で伸び伸びと育てて欲しいと思います。

以下、本人達による自己紹介です。

池田 安里紗

(魚座)

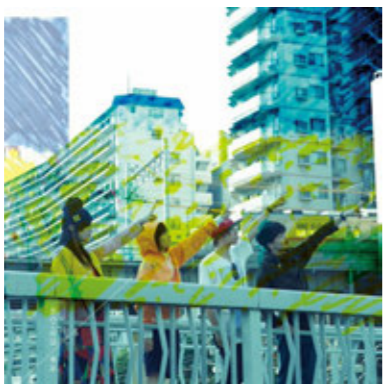


初めまして。池田安里紗(いけだありさ)と申します。昨年の11月からインターンシップとして経理を勉強させて頂き、4月に社員となることが叶いました。好きなことは音楽で、J-pop、ロックからネット音楽まで幅広く聴いています。歌うことも大好きなのでよくカラオケに行きます。皆さんの好きな音楽も聴いてみたいです。お時間あるときにお話しできたら嬉しいです。今、私がお勧めしたいアーティストは、「キャロル&チューズデイ」「きのご帝国」です。どちらも個性的でその世界観に引き込まれるアーティストです。ぜひ一度聴いてみてください。休日は家にいることが多く、料理をしたりゲームをしたりしています。同じく新入社員として入社した佐藤は、とても活発で元気なので、全く正反対の性格なのですが、とても仲良くしています。働き始めた頃は、自分が人見知りな所為もあり、周りの方との年齢の差で委縮し上手くコミュニケーションがとれずいました。ですが、上司や本部の皆さんに優しく接して頂いてとても安心したことを覚えています。その後、他のフロアーの方とも話す機会が増えて、「辛くない?」「楽しくやれてる?」と気に掛けて頂いて本当にありがたい限りです。

私は経理の知識が浅く、本当に全てにおいて初心者です。なので、毎日新しく知ることばかりで大変ですが、それと同時にもっと学んでいきたい・沢山知りたいという思いも強くあります。現在は基本を知ることではできませんでしたが、まだスタートラインに立ったばかりなので、これから更に沢山の知識を吸収し、経験を積んで、皆さんのお役に立てる頼れる人材になっていきたいと思っています。半人前の私達ですが、見守っていただけると幸いです。これからもどうぞよろしくお願い致します。



キャロル&チューズデイ



きのご帝国



BLACKPINK



TWICE

佐藤 さら

(水瓶座)

はじめまして。佐藤さらと申します。出身は福井県です。3月に池田と同じ ESP エンターテイメント東京を卒業致しました。

私の好きなことは、音楽と食べることです。好きな音楽のジャンルは、J-pop です。ですが、最近聴いている音楽は、韓国の曲を聴いています。キッカケは、友達に勧められたのですが、歌詞が韓国語で聴きづらい印象がありました。ですが、見ているうちに韓国ガールズグループが可愛くもあり、かつよくて韓国のアーティストにハマってしまいました。ガールズグループだと、「BLACKPINK」や「TWICE」を中心に聴いています。ダンス、スタイル抜群なので是非見て聴いてください。また、韓国にハマってから韓国料理も好きになりました。以前、池田に新大久保でチャンポンが美味しいお店に連れて行ってもらいました。量も味も満足でとても嬉しかったです。是非美味しいご飯屋さんがありましたら教えていただけたら嬉しいです。休日は、出来るだけ外に出て何かしたい完全アウトドア派です。ですが、最近ではコロナ禍でお店が早く閉まったり、行事ごと減り、なかなか出掛けられないのでとても悲しいです。

今、入社できた喜びをかみしめるとともに、責任の重さをヒシヒシと感じております。初めての経験で、右も左もわからなく最初は、教えていただくばかりになります。まだ未熟な私達が役目を果たせるのか不安な気持ちもあります。しかし、一日も早く、皆さんのご期待に応えられる社員となるべく一所懸命に精進していく所存です。このような私達ではございますが、どうかこれからもよろしくご指導のほどをお願い致します。

2021 vol.104

4

Legend

エンターテインメントの

実行

その①



創業者

榎垣 俊幸

エンターテイメントにはチームワークが必要不可欠

「エンターテイメント」という言葉は、日本では主に「芸能」とか「娯楽」などを表しますが、「エンターテインメント」の動詞「entertain」を英英辞典で引くと、まず最初に出てくる意味は「客として扱う」とか「もてなす」など「誰かを楽ませる」というようなことです。たとえ、どんな閉塞状態にあったとしても、誰かを「entertain」することで、ずっと考え方が変わったり、楽しい気分や考え方が、そばにいる人に共鳴していくものです。現代は十分にものがあるために、無くて困らないもので溢れています。その中で何かを求めようとか、求めさせようとか考えるとき、「エンターテインメント」というのは大きな要素となります。

自分が嬉しいと思えるものには、それを作り上げている人たちとの間に考え方の共鳴が起きています。「こんな時にこんな場所にいられたら」「こんな時にこういう対応してもらえたら」という考え方・テイスト・趣味が共鳴しているのです。これは理屈で理解するのではなく、「何かいい」と第六感のようなもので感じるものです。

例えば「晴れの場」を作ろうとすると、「晴れの場」とはどんなものか、何が必要か、何をテーマとするかなどを細分化して考えがちですが、それらを瞬時に「感じる」ことが必要なのです。テーマから設計から、チームメンバーから広告からを瞬時に思い浮かべさせる。そんな第六感が必要なのです。そんな第六感を互いに認め合って作り上げていくことこそが「チームワーク」なのです。

エンターテインメント性のある空間は、お客様に対してのエンターテインメント性があるのはもちろん、そこを作り上げているチームの中にもエンターテインメント性が溢れているものです。チーム内でアイデアを出す時には全員が徹底的に出す。そしてその後、コ



EDGE Positive mind

adtain
adproject entertain
newspaper

モデル：Jessika / Height:176cm B:80 W:60 H:88
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

コンセプトを作る人はコンセプトを作る。コンセプトから設計をする人は設計をする。そうやってそれぞれの担当者に委ねる。その時チームの創造力が高まり、エンターテインメントの共鳴を呼ぶことになるのです。

エンターテインメントにとっての「プラスアルファ」を考える

エンターテインメントを実行するには気持ちの共鳴、高揚が必要です。それらを得るためには、自分たちにとっての「プラスアルファは何か?」ということを考える必要があります。例えば、三千元のコース料理を目の前で調理してもらえたら何か得た感じになりますが、三万円コースなら、そのくらいあっても当然と思うでしょう。それと同じで「プラスアルファ」は、その場その場で違っているべきものなのです。さらにエンターテインメントの「プラスアルファ」は、ハードで勝るといっても、そこに人間の気持ちで現れてくるものはずなのです。三万円コースでソムリエが出てきて当たり前なら、ソムリエがその場が和むようなウィットのある話をするのが「プラスアルファ」となり得たりするのです。

私は仕事柄よく海外へ行っていますが、なぜか給料がしっかり出ているはずのアメリカなどでは不機嫌な店員が多く、経営が苦しいはずの、客のあまり入らないヨーロッパの

片田舎のレストランのほうが対応が良かったりしました。そこで気がついたのは、エンターテインメント性は、一方的に生み出すことが難しいということ。つまり、自分たちが楽しくなければ人を楽ませることができないということです。もしエンターテインメント性を売り物にするなら、自分が心から楽しむ必要があります。その楽しみはいろんなところから生み出すことができますが、自分が生み出そうとしない限り生み出すことはできません。どんなに辛いことがあっても、自分で気分を入れ替えようと思えば簡単に入れ替えられる。しかし、入れ替えようと思っていない人の気持ちは入れ替えることはできません。だからこそ、エンターテインメントを売り物にする人は常に自分が気分を入れ替えている必要があるのです。そのためには自分が楽しむ、遊ぶこと。そう考えていくと仕事すらも楽しくなり、そこにエンターテインメント性が否応なく生まれます。「仕事は辛いもの」、この枠にはまっている人には、エンターテインメント性のあるものは作れません。

例えば、ドライブナビゲーターに大阪弁や沖縄弁、津軽弁などを採用したものがありません。それを喜ぶ人と、全く興味を示さない人がいます。自分がエンターテインメントを売り物にするのなら、日頃から「楽しむ心」「遊び感覚」を錬磨して、そういった些細なことを発見し感動できる心が必要なのです。(次号へ続く)

取材・文/河野 崇 撮影/編集部

『ほりたりんぐ』 adtain 版



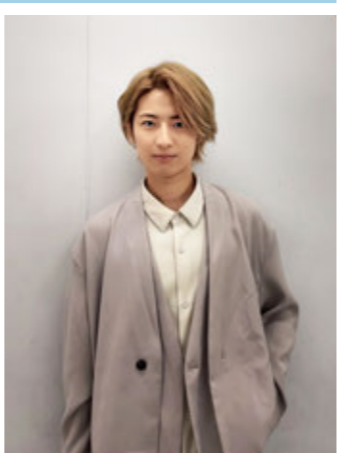
公式ホームページ

弊社所属タレント
堀田 竜成

ほりた りゅうせい



みなさんこんにちは、堀田竜成です。自分の人生の中で、これは1度はやってみたいと思う夢ってありますか?僕は、人生で1度くらいは腹筋を割ってみたいという夢があります。この話を聞いた時に、なんだそんなことかと思う人もいかもしれませんが、僕にとってはかなり高いハードルのひとつなのです。まず腹筋を割るのは何を始める必要があるのかと考え、健康生活を見直してみました。今まではカロリーや糖分の摂取量のことなど考えず生活していました。健康に対し勉強していく中で健康に対する意識が高まり、毎日15分の決まった筋トレを始め、また食品にも気をつけて、なるべく高カロリーでないもの、また血糖値が上がりにくい食品(低GI食品)を食べるということに気を付けています。この生活を始めてから、肌の調子が良くなったり、朝目覚めた時の体の倦怠感が無くなったり、その他の効果を得られています。自分の生活の中で無理のない健康生活を行うことが継続するひとつの手段だと僕は考えています。近々シックスパックの報告ができるように頑張りますね!!(笑)みなさんも一緒に健康な体作り始めてみませんか?



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願いします。
詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

www.adproject.co.jp



adproject 公式 facebook を check

adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject

検索

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>





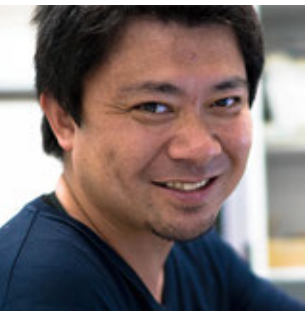
木村 亜美

- Event : AMI-GO Cafe
- Date : 2021年4月
- Place : Rider's Cafe 多摩里場

Project 1.



『Rider's Cafe 多摩里場 (丹波 RIVER)』とは、奥多摩から山梨県丹波山村方面へ進んだ先にあるバイク乗り憩いのライダーズカフェ。奥多摩といえば私のバイクライフの始まりの地であり、ツーリングでも度々訪れている思い入れの深い場所。つい先日、『Rider's Cafe 多摩里場』が開店4周年記念祭を開催するとともに、私の愛称である「あみーご」にちなんで、『AMI-GO Cafe (あみーごカフェ)』というイベントも、同時に開催されました。好天気に恵まれたイベント当日は、駐車場いっぱいのおトバイと車が集まり大盛況。もちろん検温と消毒は徹底とし、感染予防対策も終始怠らずに万全を期した体制で臨みました。閉会の時間まで、多くの人の笑顔に囲まれ、楽しい時間を過ごすことができました。来場された皆様が心から楽しんで笑顔になること、それを見る私たちスタッフも幸せな気持ちになれる、コロナ禍の前までは当たり前前の光景だったその状況が、いまになると私たちに必要な元気の源なんだな、と改めて感じました。



PRODUCER : 須田 潤一

- Event : 2021年マスターズ
- Date : 2021年4月12日
- Place : オーガスタ・ナショナルGC

Project 3.

4月12日の日本時間早朝に日本人男性初の海外メジャー制覇！マスターズ覇者となりました！
松山選手を初めて知ったのが、2010年にオーガスタが中心となりアジア太平洋のアマチュアゴルフアワードNo.1を決める大会で、そのアジアパシフィックアマチュアゴルフ選手権(AAC)で優勝しました。その時、この大会のプロデュースと制作をしたのがエディタープロジェクトでした。
そして、その大会で優勝したアマチュア時代の松山選手でした。
あれから、11年経ち、日本人(アジア人)で初めてのメジャー制覇が松山選手になるというのは、大会を見ていて感慨深い気持ちになりました。
アマチュア大会のGALAパーティのスペシャルゲストで登場したのは当時、既にプロで人気絶頂の同年代、石川遼選手でした。その様子を、パーティ会場で観ている松山選手の当時の心情を考えると胸が熱くなります！
松山選手がインタビューで話していた通り、新たな日本人選手がこれに続いて行くことを応援したいです！**松山選手 マスターズ優勝おめでとうございます！**



11年前 AAC で優勝した松山選手



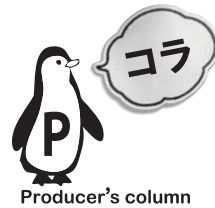
AAC トロフィー



GALA パーティ



マスターズトロフィー



舞台『観劇者』

客席にこそドラマがある。
客席開場から終演後までの観劇者たちを描く物語。



EXECUTIVE PRODUCER : 岩澤はやと

Producer's column

STORY : 東京のとある劇場の客席M列5番から13番に座る男女9人の観劇者たち。娘を観にきた夫婦や、彼氏を観劇に連れてきた彼女。ずっと観たくて仕方なかった作品を初めて観劇する女や、観劇そのものが生き甲斐となっている男。とある事情で少しでも早く終演して欲しいと願っている男と、劇場の前を通り掛かって当日券で入った女。そして、主演を務めることになった友人を観にきた男。彼ら、彼女らはどのような経緯でこの舞台を観劇することになったのか。どのような想いで予定を空け、チケットを買ったのか。この作品は、客席開場から終演するまで、ご観劇されるお客様を描く物語。俳優が最後まで観劇マナーを守って演じます。

エディタープロジェクト&サンライズプロモーション東京 共催で舞台を製作いたします！

皆さん是非お越しくださいませ！

2021年6月30日(水)~7月4日(日)

全9公演@シアターグリーン BIG THREE THEATER

公式サイト : <https://www.kangekisha.jp/>



※政府並びに東京都の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき万全の体制で公演を実施させていただきます。

船長として初出船！

PRESIDENT : 檜垣 俊吾

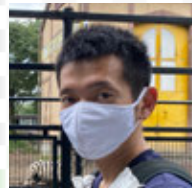
1月に一級小型船舶操縦士免許を取得し、船長として初の船出を果たしてきた！といってもレンタルボート。船にもクルマの様にレンタルシステムがあり、日本のみならず世界でも船を借りることができる、ヤマハのレンタルボートクラブ「Sea-Style」を利用し、今回は全長7m程の「ヤマハ FR23」(定員8名)を予約。9時からレンタル開始であったため、少し早めの8時40分にマリーナへ着くように向かった。なんせボートのレンタルは初めてのことで、早めに着いてわからないことなどを聞いておかなければならない。そして今回、釣りをするつもりで、簡単な釣り具一式もマリーナから借りた。一応、今回はボートに乗ることが主目的で、釣果は二の次と思いつつ、荷物の積み終わると早速出航。エンジンを始動し、冷却水が出ていることを確認し、係留ロープを解き、運転席へ座る。レバーを前進に入れ、まずは微速で棧橋を離れ、港を出るにつれ、徐々にレバーを倒して回転数を上げて加速していく。「おー、これこれ、この感じ！」やはり自分で操縦する船はサイコーである。しかし私の最大の心配事は、物凄く船酔いすること。とりあえず、まずはショートクルージングとして江の島方面を目指したが、目指す釣り場といっても、特にそこで何かが釣れるという確証があるわけではなく、なんとなく海岸の様子から根掛かりしにくそうかも？と思える場所へ行ってみるだけ。あとは魚探が表示する地形などを見ながら、魚がいそうな場所を探す。そして適当なところで停船。早速、釣りを始めつつ、波打つ水面を観ていると…あれ？船酔い?!かなと思った瞬間、一気に恐れていた事態に。海の上では逃げ場がないので、もう目を閉じて耐え凌ぐしかない。この後は陸へ上がるまで残念…という初出船であった。



無念

野菜にも「花言葉」がある！？

第1プロジェクト 阪本 崇裕



真つ赤なバラは「愛」、春を彩る桜は「精神美」、祝いの場面に欠かせない白の胡蝶蘭は「幸福が飛んでくる」など。花にはそれぞれに「花言葉」があり、伝えたいメッセージを込めて贈るプレゼントに意味を与えます。そんなロマンチックでドラマチックな「花言葉」が、野菜にもあるってご存知ですか？スーパーに並ぶ前の野菜の多くは、色とりどりの花、カタチもさまざまな花を付けます。今回は、野菜につけられている「花言葉」(言い換えるのであれば、「野菜言葉」)を少しご紹介します！

セロリ…真実の愛、会える幸せ	とうもろこし…財宝、豊富、洗練
アスパラガス…耐える恋、私に打ち勝つ	えだ豆…幸せは必ず訪れる
小松菜…小さな幸せ、快活な愛	さやえんどう…いつまでも続く楽しみ、約束
ほうれん草…健康、活力	チンゲン菜…小さな幸せ、元気いっぱい
パセリ…勝利、お祭り気分、祝祭	トマト…感謝、完成美

プロックリーが大好きな娘がおり、離乳食メニューを調べていたら野菜の花にも花言葉がある事が分かり、ちょっとしたマイブームが到来しております(笑)



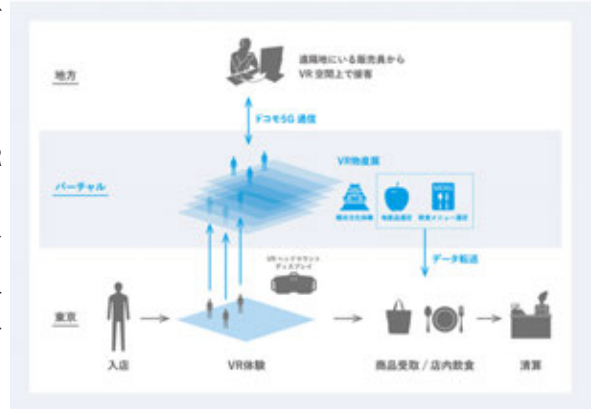
弓狩 章裕

- Event : 物産展 from 青森

Project 2.

先日、青森の物産展に行って参りました。といっても仮想現実(VR)技術と第5世代移動通信システム(5G)を活用した「未来の物産展」。今回はその仕組みである「Hybrid Retail Platform」の実証実験を兼ねて JR 東京駅に隣接する「JAPAN RAIL CAFE TOKYO」で3月17日(水)~28日(日)まで開催していたのですが、現在は、行く事が出来ないため少しだけ内容をご紹介します。

「物産展」といえば、地方の美味しい食材や名産品を、食べたり買ったりできるイベント。普段なら東京の至るところで、いろんな地方の物産展が開催されているところですが、コロナ禍の今は地方からの出展も、買い物を楽しむ機会も少なくなっています。「未来の物産展 from 青森」は、そんな今、開催が難しい物産展を VR で実現するものですが、3メートル×3メートル程度の比較的狭いスペースでも最大4人まで同時に体験できます。ヘッドマウントディスプレイを被ると目の前に「弘前城の桜」が広がっていて、四角いスペースは多階層の VR 空間内を、まるでエレベーターに乗っているかのように縦、横に移動。ほかにも「奥入瀬渓流」、「青森ねぶた祭」、「岩木山(津軽富士)」、「A-FACTORY(シードルの工房)」といった、青森の美しい風景や観光名所が360度の視界で広がります。スペース内にはそれぞれの観光名所ごとに、青森の名産品やお酒、スイーツなどが並んだパネルが表示され、モニターに映る現地の販売員とやり取りしながら、買い物を楽しめます。コントローラーなどは使用せず、手を使ったジェスチャーコントロールで、パネルから商品を選んでカートに追加できます。VR 体験終了後にタブレットでカートを確認して決済すれば、実際に商品を受け取り、店舗内で飲食も可能です。Hybrid Retail Platform は、リアル空間とバーチャル空間を掛け合わせて新しい観光・購買・飲食体験を実現する次世代型の流通小売システムです。VR 空間にアクセスすることで、実際に現地を訪れているかのような観光の体験やショッピングが可能になったり、遠隔にいる人同士のコミュニケーションが取れたりなど、観光地や店舗にとっても、世界観に合った空間表現がしやすく、高度な販促活動が可能となる新しい観光・グルメ・ショッピングサービスです。近い将来、日本のみならず世界の観光地巡りやコミュニケーションなど体験できる日も近いかもしれません。



PRODUCER : 岩下 信而

- Event : It's a Sin to Tell a Lie
- Date : 2021年4月
- Place : 東京

Project 4.

今月のテーマは、拙文を書いている本日4月1日エイプリルフールに因んで「嘘」

【スケジュールの都合で聖火ランナーを辞退した芸能人】1年先に繰り越された時点で既に別の予定が決まっていた場合もあるでしょうが、その段階でお断りするのがマナー。さらに聖火ランナーという役割を大切に思うなら、万障繰り合わせる努力をするはず。(主役級なら日程調整できる可能性はある)どんな仕事も同じでしょうが、とりわけ芸能という特殊な仕事は、予算だけでなく、評判やイメージを重んじる。断りたい場合に「スケジュールが合わない」と回答するのは常套手段。女性が「ペットが病気」「父親が上京している」というのと同じ。「親友から大事な相談事をされていて、彼女とは今夜しか予定が合わないの」なんていうものもあります。

誤解を恐れず書きます。チャップリンの時代からデュープス(騙されやすいおバカ=俄か左翼)がはびこる芸能界。マスメディアの煽り報道に乗せられて、判断を誤っている気がしてとても残念です。対照的に、完走後「私はスケジュールに問題がなかった(この仕事を引き受けました)」とシニカルなコメントを残した、しずちゃん(南海キャンディーズ)の笑顔が心地よい。



嘘歌団もカバーした

【モバイル・メッセージ・アプリケーションの社長の、「国家情報法」は潮目の変化を見落としていた会見】8千万人以上の国民の情報を収集している企業として、他国の法とはいえ類を見ない悪法に対して、あまりにも無責任すぎと思いませんか。それに輪をかけて、デジタル大臣をはじめ行政が、いまだに奨励していることも気持ちが悪い。「クリーンネットワーク」企業の資格はく奪にでもなったら、日本の恥。対照的に猫組長によると、日本で一番有名な暴力団は、このアプリを禁止したとの事。さすが危機管理意識に長けていますね。(笑)。欧米では普及していないこのアプリ、使用するの個人自由、ただし見知らぬ人にポストやごみ箱、机の中を覗かれても気にならないくらい覚悟が必要だと思うけど。この考え、ぼくがヘンなの？

表題は「嘘は罪」(1936)という邦題で知られるスタンダードナンバーから。バンド仲間の結婚式で、彼女の父親と演奏したのがこの曲。彼女は通算3回結婚して、現在は独身生活を謳歌しています。「愛している、と言うときは気をつけて！嘘をつくのは罪だからね」という歌詞が心に沁みる。では次号、Ciao!



コンフィデンスマンJPの作者古沢良太の傑作群像劇(2015)